



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議会ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

北茨城市議会 大震災で被害の 東北3県を視察

このほど市議会では、地震・津波被害の甚大な東北3県を視察してきました。主な行程は、陸前高田市↓気仙沼市↓南三陸町↓仙台市↓仙台空港↓亶理町↓山本町↓相馬市で、2班に分かれて実施しました。福田明、鈴木やす子両議員のレポートです。

消えた三陸の街

福田 明

昔から地図を見るたびに、一度は行ってみたいとあこがれていた三陸の海。その初めての訪れが被災地視察とは何と皮肉である。

一関から内陸を横断して太平洋へ。眼下に見えるはずの陸前高田の街は消えていた。あるのは膨大なガレキの山と、わずかな鉄骨の残骸だけで、白砂青松の高田松原の松も一本残ったのみである。しかし海は驚くほどきれ



炊きだし隊と鯉のぼり

いわき市の避難所で、茨城農民連が餅つきや豚汁の炊きだしに取り組みました。中郷町のIさんもかけつけて「原発は廃止せよ」と染め抜いた手製の鯉のぼりを持参し、テントの前に泳がせました。
(6/10、いわき市平公民館)



気仙沼市から南三陸町へ

いで凧いでいた。胸がしめつけられる思いだ。南下して、気仙沼や南三陸の街も壊滅していた。三陸特有の入りくんだ海と山の間へはびりつく無数の集落も消えていた。地震と津波が三陸から茨城にかけての広大な沿岸部に襲いかかった。そして福島原発事故である。人間の歴史は、幾多の困難を乗り越えてきた歴史でもある。打ちのめされた三陸の街が、どのような形で再生するか私には想像できないが、かならず甦ることだけは信じて疑わない。

復興と政治の役割

鈴木やす子



南三陸町の防災対策庁舎

数え切れないほどのガレキの山と、点々と動いている重機。目の前に海が見えないところ。津波は押し寄せ、家もくらしも飲み込んでいた。大津や平潟や磯原で見た光景が何十倍もの大きさで広がっている。

仙台平野では、海岸線から数キロ地点まで海水につかって、まだまだ泥の下であり、ガレキが散乱している。田んぼ一つもどうやって復旧するか、気が遠くなりそうだ。仙台空港では、旅客機の発着が再開していたが、1階部分の壁は応急処置の板張りだった。搭乗口では、仮設の掲示板が行き先を知らせていた。そうした工夫に復旧への意欲が感じられた。

東日本の高速道が無料に

被災証明書を市が発行

北茨城市では、震災地域の高速道の通行無料化にあわせ「被災証明書」を発行します。受付窓口は市役所1階ロビーと3ヶ所の市サービスセンターで、申込みには免許証か健康保険証が必要です。対象地域の高速道を通

電柱を建て直しているところもあった。いずれ電気も通り、人々が戻ってくるだろう。街の復興をめざすとき、なににより住民の思いや暮らしがないがしろにされることのないよう政治は動かなければと強く思った。

一步一步けんめいに 被災者支援と災害復旧

6月15日
現在

- 全・半壊戸数 1555
- り災証明 申請 6775 証明書発送 6222 再調査も受付中
- 被災証明書発行は、市役所1階ロビーと3ヶ所の市民サービスセンターで受付
- 損壊家屋(木造)の解体は、市内各地域を13区分し、順次作業。
- 震災総合窓口は市役所2階
これまでの相談数 1879人 2667件
- 被災者の国保税、市民税等の減免も受付中
※ 市HPで「災害・支援情報」「放射能情報」

東電と国に署名提出

市では「福島原発事故の早期収束と被害に対する補償を求める署名」に取り組んできましたが、6月9日、豊田稔市長が東電本社に出向き、鼓紀男副社長に手渡しました。また、農水大臣宛にも送付しました。今回は第一次分として1万4588筆。市としては、署名活動を今後も継続し、随時提出する意向です。

「男はつらいよ」・「学校」・「幸福の黄色いハンカチ」・「母べえ」の
やまだ ようじ
山田洋次さん
みなさん
お誘い
あわせて

いわき市応援 緊急 来市決定!

被災地いわきに心を寄せて ~映画で心休めませんか~

☆とき:6月25日(土) 開場 12:30分 **入場無料**

☆ところ:内郷コミュニティセンターホール

第1部 映画上映 思いっきり笑って泣いてください!
13:00~14:51 シリーズ第15作
「男はつらいよ 寅次郎 相合い傘」
出演: 渥美清 浅丘ルリ子

第2部 山田洋次監督の楽しいトークをお楽しみ下さい
15:00~15:30 「寅さん映画を作りつけて」
※講演の前にいわき市の被災状況を視察していただきます。